

●子宮がん部会

開催日	令和2年10月7日(水)
委員	①京委員(島根大学医学部)、②森本委員(森本産婦人科医院)、③入江委員(松江市立病院)、④岩成委員(県立中央病院)、⑤川瀬委員(島根県環境保健公社)、⑥吉永委員(益田市健康増進課)、⑦中本委員(出雲保健所)
議題	<p>■報告事項</p> <p>(1)前回の「子宮がん部会」の議論について</p> <p>(2)益田市をモデルとした子宮頸がん検診受診率向上の取組報告</p> <p>(3)子宮頸がん検診の現状</p> <p>①子宮頸がん罹患・死亡状況</p> <p>②子宮頸がん検診実施状況</p> <p>・各市町村の検診実施内容</p> <p>・受診状況</p> <p>(4)がん検診精密検査実施機関登録事業実施状況</p> <p>(5)令和元年度子宮頸がん検診精度管理事業について</p> <p>■協議事項</p> <p>(1)令和2年度子宮頸がん検診精度管理事業について</p> <p>(2)「子宮頸がん検診ガイドライン2019年度版」について</p> <p>■その他</p> <p>(1)子宮頸がん検診の受診間隔について</p>
意見課題	<p>①益田市の取組について、対象とした年代には受診者数増の効果があつた。今後、対象を拡大した取組に期待。</p> <p>②75歳未満年齢調整罹患率について、CIN3を含む場合は全国平均よりも県平均が高い。浸潤がんは、全国平均よりも県平均が低く推移していたが、最新の2017年データにおいて、県平均が全国平均をわずかに上回り、早期発見に取り組む必要がある。</p> <p>③精密検査実施機関の基準について、「組織診の検査を行い、診断ができる」ことを必須項目に変更する。</p> <p>④子宮頸がん検診精度管理事業について、評価の結果、検査結果と検診判定結果に齟齬があることがわかつた。令和2年度事業においても、評価を継続する。</p>
今後の予定	<p>①益田市の子宮頸がん受診率向上の取組について、県内担当者で共有する。</p> <p>②精密検査実施機関の基準について、変更、通知する。</p> <p>③令和2年度子宮頸がん検診精度管理事業を実施する。</p>